

ソウギョ (コイ科)

学名 : *Ctenopharyngodon idellus*

別名 : ソーヒー, ソウヒー

大きさ : 全長 100 cm

特徴 : 全体に茶褐色で体側の鱗の隆起線が暗黒色で縁取られているため、体全体に網目模様が掛かっているように見える。

国内の分布 : 当初, 大型食用魚として日本各地に盛んに放流されたため, 東北地方から九州までの主な河川と湖沼で生息が確認されている。ただし, 再生産が行われているのは利根川水系のみ。

県内の分布 : 利根川水系, 霞ヶ浦北浦。1943年と1945年に霞ヶ浦・北浦と利根川に放流されたが, 現在の霞ヶ浦・北浦では, ほとんど見られない。

県内での生態 : 利根川水系での生態はハクレンなどとほぼ同じと考えられる。河川や湖沼のやや深いところで生活し, 岸边に生える水生植物を食べる。

備考 : 非常に大食漢であり, 草食という生態をもつことから, 近年は食用目的ではなく除草目的で放流された場所も多い。中国ではアオウオ, ハクレン, コクレンとともに四大家魚として養殖されている。外来生物法では要注意外来生物に選定されている。

主な文献 :

加瀬林成夫・三浦紀人 (1957) 霞ヶ浦北浦にて漁獲された小形のアオウオ *Mylopharyngodon piceus* (Richrdson) について. 茨城県水産振興場調査研究報告, 2: 26-29.

加瀬林成夫・加福竹一郎・中野 勇 (1966) 利根川水系におけるソウギョ・ハクレンの未成魚の生態について. 茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所調査研究報告, 8: 1-37.